

あさお市民活動  
レポート

# あさお ふれんず

Asao friends

12  
2023

## アドラー心理学勉強会

3  
面



アドラー心理学研究会 人間関係が  
きっとよくなる…かも



麻生区で活動する市民  
サークルを紹介していま  
す。気になるサークルに  
はぜひお問い合わせを！

## 市民 サークル 紹介

12  
月号

詳しい情報は  
**中面・裏面**  
で！



## フダコマ広場

2  
面



会場に準備した沢山のゲーム

ゲームはおしゃべりを楽しむものから、  
戦術・戦略を駆使するものまであり、  
参加者の好みとレベルに合わせて提案し、  
プレイがはじまる。

## モデルアイゼンバーン クラブ

4  
面



スイスの鉄道と文化を紹介するグッズ

ヨーロッパの鉄道模型をヨーロッパ  
のジオラマのなかで走らせる。出張  
展示では関連グッズや現地の風景ビ  
デオを展示し、文化も紹介する。

## 楽しい中国語会話

3  
面



こげん  
北京語言大学編纂のテキストで

語学の勉強だけでなく、野外授業と  
して、いろんなことを行っている。  
中華街散策や中華料理食事会など  
など。それはなぜか……。

## おれんじあさお

2  
面



買い物ツアーのあと、メンバーで一息

認知症に対するさまざまな偏見をな  
くし、皆が安心して「共生」できる  
まちづくりを目指して活動を行って  
いる任意団体。



毎年たくさんのシニアが  
地域デビューしています



申し込み方法・詳細は、  
やまゆりホームページを  
ご覧ください。

「やまゆり」では、仕事や子育てにひとくぎりついた方がスムーズに地域社会へのデビューを果たすお手伝いとして毎年「目指せ！アクティブシニア講座」を開催しています。  
2024年1月13日（土）から毎週土曜10〜12時全5回の連続講座、定員は25人、受講料は無料、申し込み受付は12月1日（金）〜20日（水）まで。  
地域社会で活発に活動をしている人を講師として迎え、自分が何ができるのかを考え、仲間づくりに役立つヒントを用意します。毎年、講座参加者で新しい団体が出来ています。積極的な参加をお待ちしています。

受講生募集

「これから人生二刀流」の時間を

第15回  
目指せ！  
アクティブシニア講座

# ボードゲームで「コミュニティづくり」を！

フダコマ広場

大人のボードゲーム部を取材した。ゲームには、おしゃべりを楽しむ軽いものから、戦術・戦略、心理的な駆け引き、知識・記憶を競うものまである。個人で競うもよし、チームで協力しあうもよし、その日の気分で使い分けが可能である。

5年前、岡崎市の商店街を盛り上げるために活動を開始、転勤で移り住んだ新百合ヶ丘にもボードゲームを根付かせたいと思い、半年前に活動を開始。代表の豊泉さんは、ボードゲームを通じて「人」「街」「社会」を豊かにしたいと願っている。

難易度にもよるがルールの説明に



主な内容物

防災ゲーム「LIFE」の使用カード。状況を判断し、カードを正しく選び、生き延びる術を学ぶ。「LIFE」(左)はカードの収納箱



真剣なプレイに熱気を感じる

は数分〜30分程度。プレイ時間は軽量級で5〜15分、中量級で30分〜1時間、重量級で1〜3時間を要する。取材当日は「勇者たちの門出」という地図製作紙ペンゲームであったが、筆者には全く理解できなかった。

オリジナルゲームの制作も行っており、「防災ゲームLIFE」は当団体の代表作となっている。LIFEは災害を疑似体験しながら、防災の三原則「自助・共助・公助」を学ぶことができる協力型ゲームとなっている。

豊泉さんは、いつかは岡崎市のように多くの団体を造り、地区対抗の大会をやりたいと願っている。

取材・文 区民記者 中島久幸



ひろば  
フダコマ広場

代表：豊泉 元 (とよいずみ・はじめ)  
連絡先：090-9891-3969 (豊泉)  
設立：2023年5月  
入会金：なし  
会費：2000円/月  
活動日：隔週第2第4水曜日13~21時 (途中入退場可)  
場所：麻生市民館 会議室

# 認知症にやさしいまちづくりを目指して

おれんじあさお

麻生区が目指している「認知症にやさしいまち あさお」の実現に貢献したいと、認知症支援推進活動団体「おれんじあさお」が2023年4月から活動をはじめた。

介護施設職員、認知症サポーター、介護福祉士、認知症疾患医療センターなどと連携し、認知症本人の見守り、傾聴活動を行うほか、地元商業施設にも協力してもらい、買い物のサポートも行っている。

活動の根幹にあるのは4つの柱。

1つ目は「共育」。認知症への理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座を主催。また、認知症対策をテーマとした課題検討会と勉強会を毎月開催している。2つ目は「ネットワークキング」。賛同者のネットワークを構築し、登録メンバーとともに、課題検討など認知症対応の共通認識を形成。3つ目は「活動支援」。すでに地域で活動している人・組織・団体の支



認知症サポーターについて説明する大竹代表

援とサポートを行う。そして4つ目が「情報発信・広報活動」。地域住民に向けた広報活動だ。

共同代表の倉石知恵美さんは「認知症対策の基本は、多くの人が正しく知ることです。理解を広げ、偏見を解消し、認知症になっても安心して暮らせる町にしたい」と語る。

何か活動してみたいと思われた方は、気軽に問い合わせを。

取材・文 区民記者 佐々木直子



代表：大竹 明 (おおたけ・あきら)  
倉石 知恵美 (くらいし・ちえみ)  
連絡先：080-9301-8152  
orangeasao@gmail.com  
設立：2023年4月1日  
会員：ML登録会員49名 (11月1日現在)  
活動日：不定期 (毎月活動)  
場所：福祉パルあさお ほか  
HP: <https://ameblo.jp/orangeasao>



# 異なる文化、言語、習慣を持つ人を理解する

楽しい中国語会話



初級クラスの様子。写真右が講師の柳さん

テキストは、北京語言大学編纂のもの。文章や会話の録音を聞き、講師とともに復唱し、質問し、説明を聞き、理解する。「中国語の耳を作る」ために聞き分け練習をこなす。講師は言葉の意味を説明し、いま世の中で起っていることもあわせて話し、中国文化への理解を促進する。

レベルでクラス分けし時間・場所をかえて授業は行われている。上記のものは初級の人たちの一風景。

「目標は、基本1年で現地に行っている物、仕事で挨拶や基本的な会話ができるようになること」と、代表であり講師の柳沙さん。中国山西省で生まれ、筑波大学で環境科学修士課程修了後、東京YMCAなどで中国語講師を務め、2年前、麻生区に。

今回、新百合ヶ丘地区で「中国語

会話」をはじめめる前から、目黒ユネスコ協会などで中国語講師を務めているが、その生徒の人たちとも一緒に活動。それは野外授業としての中華街散策や中華料理食事も、薬膳料理づくり、中国映画の鑑賞会などを通して実践的な中国語を身につける。

「語学の勉強だけでなく、中国人の生活、考え方などを知り、異なる文化、言語、習慣を持つ人々を理解してもらえればと思います」と柳さんは語る。

取材・文 区民記者 神澤秀夫



薬膳料理づくりからも中国を知る (写真:柳さんより提供)

# アドラー心理学でより幸せな人生を

アドラー心理学勉強会

アドラー心理学勉強会は、より幸せな人生が得られるよう、オーソドリの心理学者アルフレッド・アドラー(1870~1937)の心理学を、日々の体験を素材に学ぶサークルである。

例会は、前回の復習のあと、代表者で講師の田山夢人さんから、アドラー心理学の考え方について説明があり、続いてその日のテーマに沿ったディスカッションを行い、途中で適宜、田山さんからアドバイスがあるという流れで行われる。

この日は、失敗しちゃった人への接し方。子どもや周囲の人が、家庭や組織などで失敗したときの接し方を考えた。



田山さん(中央)と参加者。他に10名ほどがオンラインで参加した

田山さんからの、失敗を責めるのではなく、結果は失敗でも、その過程でうまくいった点に着目し励まそう。家族や他人のために、手伝い貢献しようとした気持ちに感謝しよう。子どもの場合、大事なものは失敗しない(させない)ことではない。失敗も成長のために大事等のアドバイスがあり、ついで参加者の「失敗しちゃった」体験談をめぐり、参加者同士で意見を交換した。

笑い声や感心する声に交じって、子育てのときこつという知識があったら良かったね、という声もきかれた。なお、例会は対面のほかオンラインでも参加できる。

取材・文 区民記者 仲原照男



たの  
楽しい  
ちゅうごくごかいわ  
中国語会話

代表: 柳沙(りゅう・しゃ)  
連絡先: 070-8577-5338 (柳沙)  
yanagi007c@yahoo.com  
設立: 2023年4月  
会員: 8名(男性3名、女性5名)  
会費: 3500円/月+雑費(場所代など)  
活動日: 火曜日 月3回  
場所: 麻生市民館、Ladybug教室、野外授業



しんりがくべんきょうかい  
アドラー心理学勉強会

代表: 田山 夢人(たやま・ゆめひと)  
連絡先: 090-5835-0781(田山)  
設立: 2019年11月  
会員: 15名(オンライン参加者を含む)  
会費: 2000円/月  
活動日: 2-3回/月  
場所: 麻生市民交流館やまゆり ほか

## ヨーロッパの鉄道が大好きな仲間



トンネルの上にそびえるノインシュヴァンシュタイン城(独)。沿線には欧州の民家が並ぶ



モンテロッソ・アル・マーレ海岸(伊)を初代LGV(仏)が疾走。ピサの斜塔も見える

鉄道模型もジオラマもヨーロッパにこだわって楽しんでる。使う模型は縮尺1/87、線路幅16・5mmのHOとHOe、HOMゲージの3種類。縮尺1/160、線路幅9mmのNゲージに比べて大きいので、模型の細部までより忠実に再現されていて迫力がある。

事務局長の二上さんが、横浜のヨーロッパ型鉄道模型の専門店で見学をした際に愛好家が集まったので、自宅付近で仲間を募ってはじめてた。会員は鉄道模型を持ち込むが、ジオラマとコントローラは会のものを使用できる。持ち込む模型は蒸気機関車から電気機関車、電車、高速鉄道などさまざま。模型は同時に3編成を走らせることができる。

前進、後進や速度、ポイントの切り替えのほか、細かなオブションを追加して、ヘッド・テール・室内灯を点灯し、走行音や警笛を鳴らして走らせるさまは、いかにも楽しそう。また、ジオラマにも模型と同様にこだわりを込めている。紅葉や雪景色など四季おりりのジオラマを用意して季節を使い分ける。山にはトンネルをつくり、渓谷には鉄橋をかけ、道路には植え込みや人影、車など小物も配置し、ケルン大聖堂やピサの斜塔など有名な建物も配置して、臨場感を高めている。

二上さんの「出張展示にあたっては、ヨーロッパ型の鉄道車両に合わせて、観光、産業、言語などヨーロッパの文化も知ってほしい」という思



模型を見守る手前は駅のホーム

いが評価され、外務省や欧州の大使館から後援を得ている。また、1000個近い模型や多くのジオラマを所有しており、これを寄贈して、いつの日か常設の会場を持ちたいという思いもある。

希望すれば無料で出張展示にも応じてくれるので、連絡されたい。

取材・文 区民記者 中島久幸

### モデル アイゼンバーン クラブ

代表：宮崎義幸(みやざき・よしゆき)  
事務局長：二上孝秋(ふたがみ・たかあき)  
連絡先：070-5084-3195(二上)  
設立：1992年5月  
入会金：3000円  
会費：9000円/年、1000円/回(会場費、参加者のみ)  
活動日：毎月第4土曜日 9~19時(途中入退場可)  
場所：金程会館

# ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します！



## あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『麻生市民交流館 やまゆり』で編集会議を行っています。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



### 麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

活動を紹介して欲しい

## 取材申込み方法

### 応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

### 申込方法

- ①団体名
  - ②代表者名
  - ③連絡先(電話・FAX・メール)
  - ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)
- をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを取材して!

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。